

（ プロローグ 床矯正 温故知新

**矯正治療の古きをたずねて新しきを学ぶ** ————— 3

- ❖ 歯科矯正の流れを変えた歴史的イベント 4

（ **海外の歯科矯正事情からの考察** ————— 6

（ 床矯正治療の Essential ①

**治療対象は歯列だけではない** ————— 8

- ❖ 不正咬合発症の原因と不正咬合がもたらすもの 8
- ❖ よりよい顔貌を作る 10
- ❖ 叢生が発症した原因 10
- ❖ 症例—矯正治療は顔貌を大きく変化させる 11

（ 床矯正治療の Essential ②

**抜歯を前提にするか、否か** ————— 16

- ❖ 歯列交換時期のstageにより治療の考え方が異なる 16
- ❖ 抜歯処置を選択するのか、拡大処置を選択するのか 21
- ❖ 床矯正治療は患者さん主体の治療法である 21

（ 床矯正治療の Essential ③

**子どもを育み、食文化を導く** ————— 22

- ❖ 「味わう」ことを高める 22
- ❖ 食育の目的 22
- ❖ 改善すべきこと 24
- ❖ 生理機能からみた食育 26

（ 床矯正治療の Essential ④

**早期治療が成功の決め手** ————— 30

（ 床矯正治療の Essential ⑤

**患者主導の治療である** ————— 37

- ❖ 咀嚼訓練の誘導 39

（ Trouble & Recovery

**こんなときどうする？** ————— 40

- 治療の途中で、装置を外したいと言われた 40
- 反対咬合で床は前方に移動しているが、被蓋関係が改善されない 41
- 歯列が整ったが、顔貌が改善しない 43
- 開咬 44
- 下顎の後退と過蓋咬合の早期治療 44
- 人為的に発症した前歯・臼歯の開咬 45

エピローグ 47

### Column

日本における不正咬合の発生率と国民の関心 7  
歯列と顔貌の関係 / 上顎骨育成には年齢的制約がある 15  
上顎が出ているのか？ 下顎の後退か？ 46